

令和7年10月3日

兵庫県南あわじ地域における保全計画に基づく活動状況等の評価
(令和7年度第4回世界農業遺産等専門家会議)

1 評価

貴地域では、地域の農業遺産の保全活動が概ね適切に行われていることが確認できたため、今後も引き続き活動を維持されたい。

2 専門家会議による助言事項

更なる保全・活用に向け、以下の助言事項を参考として今後の保全活動に取り組むことが望ましい。

- (1) 新規就農者の就職支援や定着について、地域の大学との交流や親方農家とのマッチングなど多岐にわたる取組を実施しており、評価できる。引き続き、地域内のみならず関係人口を増やす試みを継続的に実施することが望まれる。
- (2) 露地野菜については生産者が確保されているが、地域の農業としてバランスの取れた産業とするため、水稻や畜産についても引き続き担い手の確保に努めることが望まれる。
- (3) 地域文化として継承されている「淡路人形浄瑠璃」について、農業と関連付けた説明を行うとともに、地域内のみならず広く一般的に周知することが望まれる。
- (4) 伝統的食文化と玉ねぎに直接的な関係がない場合は、伝統的食文化の継承が地域にとって欠くことが出来ない要素として、“農業”、“産業”、“環境”、“暮らし”など大きな括りでの説明の方法を検討されたい。
- (5) 玉ねぎの二毛作や伝統に基づく郷土の暮らしと保全といった“伝統”を強調することが重要であり、ベジタブルアイランド(玉ねぎを中心とした多品目野菜の周年栽培)を伝統的な農業として農業遺産と関連付けた説明や目標の設定を行うなど、全ての取組が紐づく中心的なコンセプトを定めることを検討されたい。

(以上)